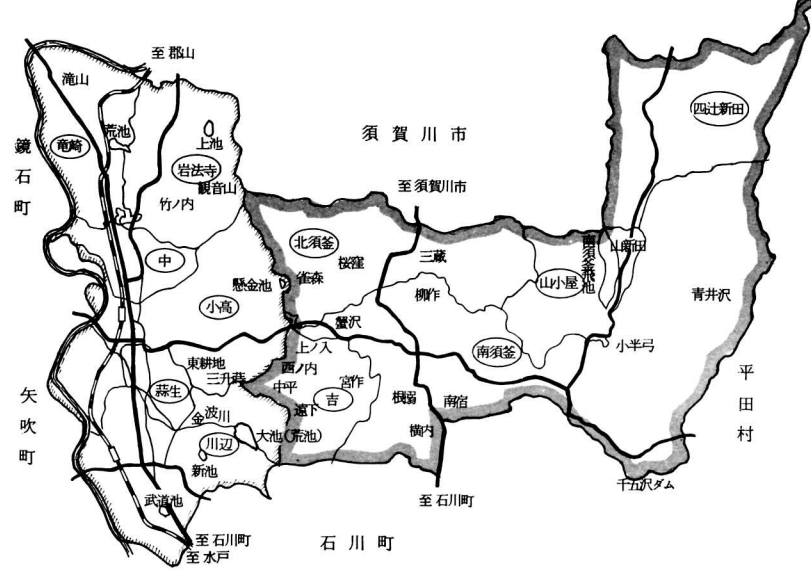


(3) 今の玉川村になるまで

- 明治5年(1872)ごろは西がわの地いき(小高,中,岩法寺,竜崎,川辺,ひりゅう)は6つの村に分かれ、東がわの地いき(南須釜,北須釜,吉,山小屋,山新田,四辻新田)も同じく6つの村に分かれていました。でも明治22年(1889)になると、西がわの地いきも、東がわの地いきも、なかよく6つの村を合べし、泉村(西),須釜村(東)となりました。

- 昭和30年(1955)3月に、泉村と須釜村がいっしょになって、今の玉川村となりました。



<人口のうっり変わり>

